

# 最近の管内経済概況

(2021年7月の経済指標を中心として)

～ **新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるが、  
持ち直しの動きがみられる** ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、緩やかに持ち直している。
- 個人消費は、一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。
- 観光は、低迷している。
- 公共工事は、減少している。
- 住宅建設は、持ち直しの動きがみられる。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、弱い動きがみられる。
- 企業倒産は、件数は減少、負債総額は増加している。

全体として、管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。

なお、先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2021年9月13日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局  
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

# 管内経済概況判断の推移

(2021年9月現在)

発表月	2021年4月	5月	6月	7月	8月	9月	前月との判断比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる	
生産活動	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
個人消費	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	
観光	悪化している	一部に下げ止まりの兆しがみられる	一部に下げ止まりの兆しがみられる	低迷している	低迷している	低迷している	
公共工事	減少している	増加している	減少している	増加している	増加している	減少している	
住宅建設	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	
民間設備投資	減少している	減少している	減少している	増加している	増加している	増加している	
雇用動向	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	
企業倒産	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも増加している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数は減少、負債総額は増加している	

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

 上方修正  据え置き  下方修正

# 生産活動 ～ 緩やかに持ち直している ～

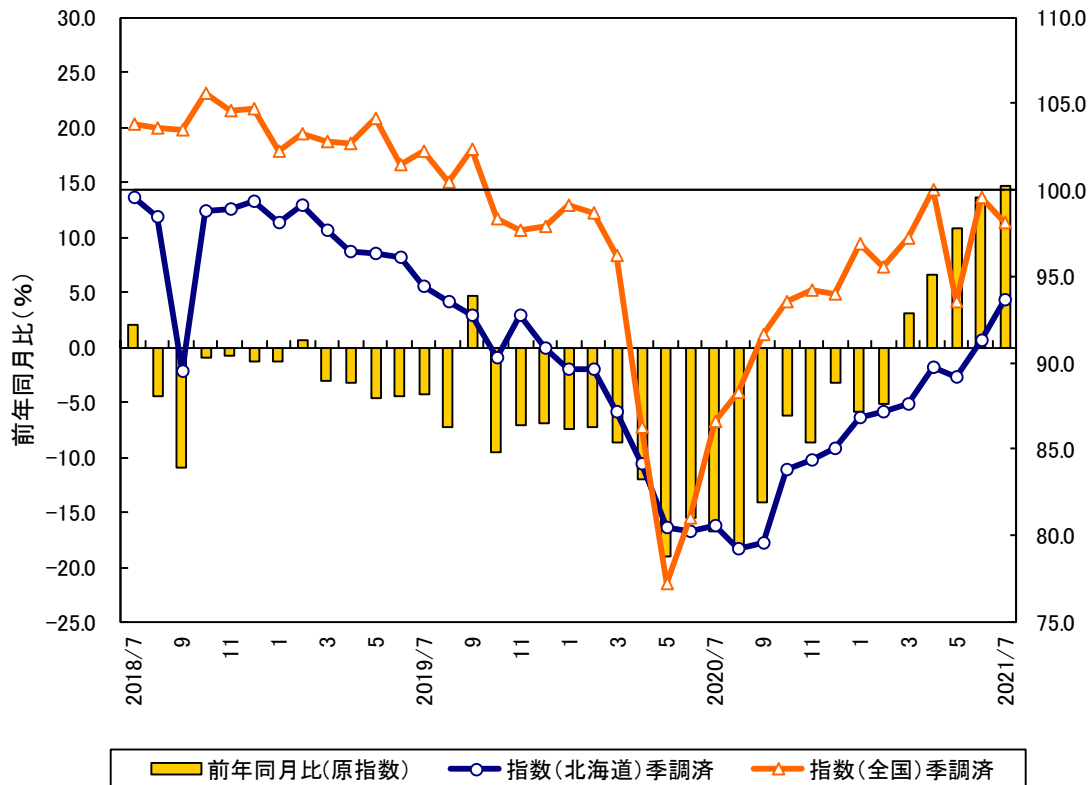
7月の鉱工業生産は、前月比+2.6%と2か月連続で上昇した。  
 上昇業種は、鉄鋼業など9業種となった。低下業種は、金属製品工業など6業種となった。

＜7月＞	
季節調整済指数	
北海道（速報）	93.7（前月比+ 2.6%）
全国（速報）	98.1（前月比▲ 1.5%）

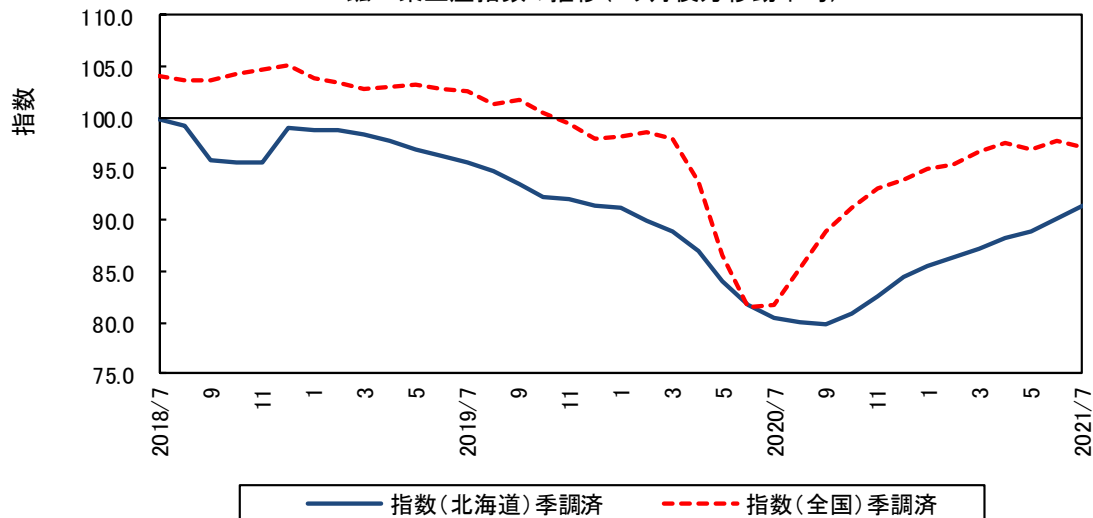
## 【ヒアリング内容】

- ・大型案件の受注により、一般機械の生産が増加した。  
（一般機械工業）
- ・家庭向けの惣菜などの需要が好調であったため、その他の水産加工品の生産が増加した。（食料品工業）
- ・4月以降、商業施設や集合住宅向けの受注が少ない状況が続いており、金属製建具の生産が減少した。（金属製品工業）
- ・前月に定期修理があった反動で、鋼半製品の生産が増加した。受注が好調なことから、今年度中はほぼフル生産が続く見込み。  
（鉄鋼業）

鉱工業生産指数（2015年=100.0）



鉱工業生産指数の推移(3ヶ月後方移動平均)



（資料：経済産業省、北海道経済産業局）

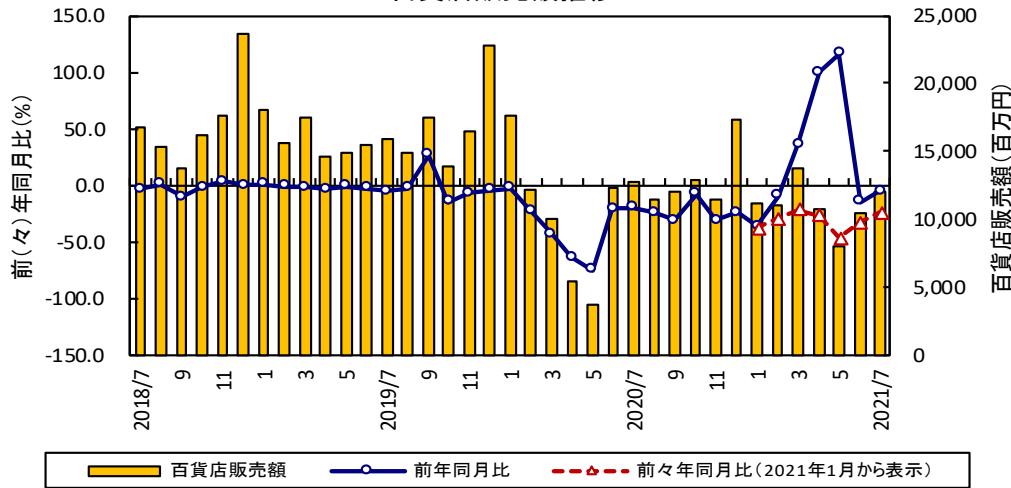
# 個人消費 ～ 一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる ～

7月の個人消費は、百貨店、ドラッグストア、新車販売は前年を下回ったものの、他の業態は前年を上回った。

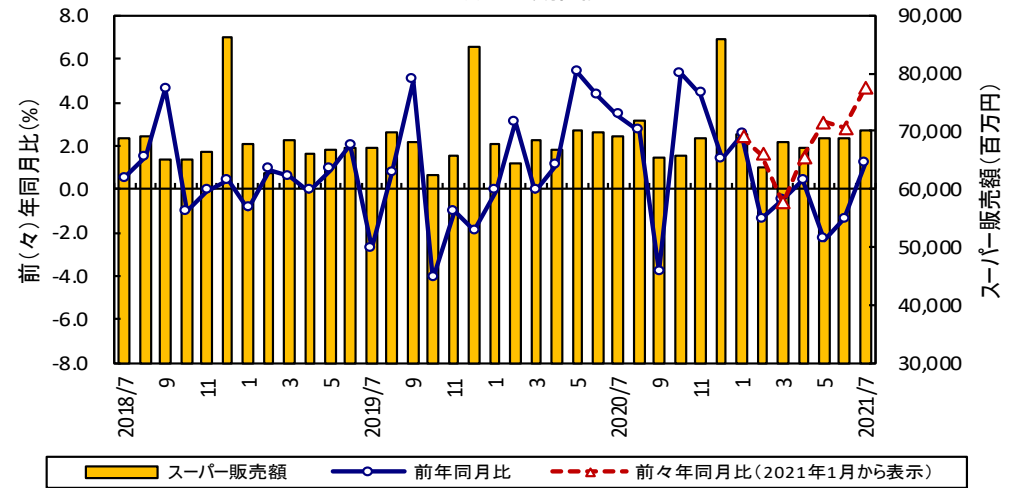
※前々年同月比は、北海道経済産業局「北海道百貨店・スーパー販売動向」掲載の販売額などから算出。

- 百貨店は、中旬以降、暑い日が続いたことから客足が鈍り、また衣料品の売上也伸びなかったことから、前年同月比▲5.0%（前々年同月比▲24.0%）と2か月連続で前年を下回った。
- スーパーは、飲食料品の売上が良く、同+1.2%（同+4.7%）と3か月ぶりに前年を上回った。
- コンビニエンスストアは、同+4.8%（同▲0.3%）と5か月連続で前年を上回った。

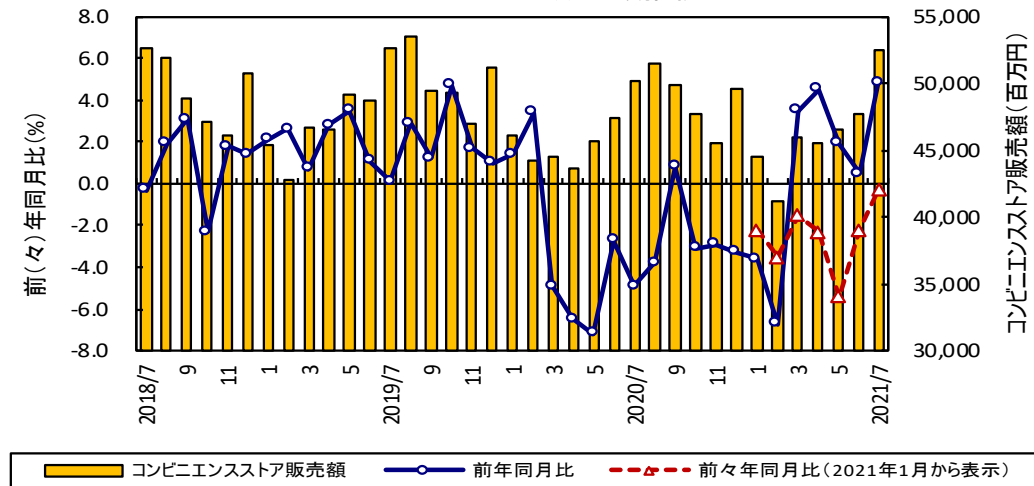
百貨店販売額推移



スーパー販売額推移



コンビニエンスストア販売額推移



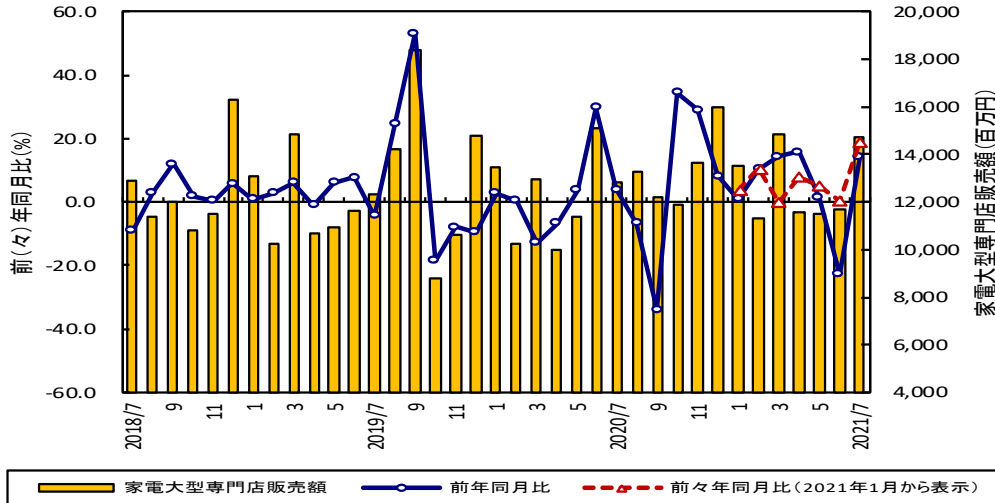
※ 2020年3月に対象事業所の見直しを行ったスーパーの2020年2月以前の販売額については、整合性を図るため調整済み。

## 【ヒアリング内容】

- 中旬以降、真夏日が続いたことや、下旬から新型コロナウイルス感染者数が増加し始めたこともあって、客足が鈍り、売上が減少した。（百貨店）
- 真夏日が続いたことで、飲料やアイス類など暑さを緩和するような商品がよく売れた。また、オリンピック期間中は家族揃って食べられるような食材のセットもよく売れた。（スーパー）
- 暑い日が続き、アイス類、冷たい調理食品やサラダなど、さっぱりしたものがよく売れた。また下旬の連休の状況を見ると、行楽地で人出が戻ってきていると感じる。（コンビニエンスストア）

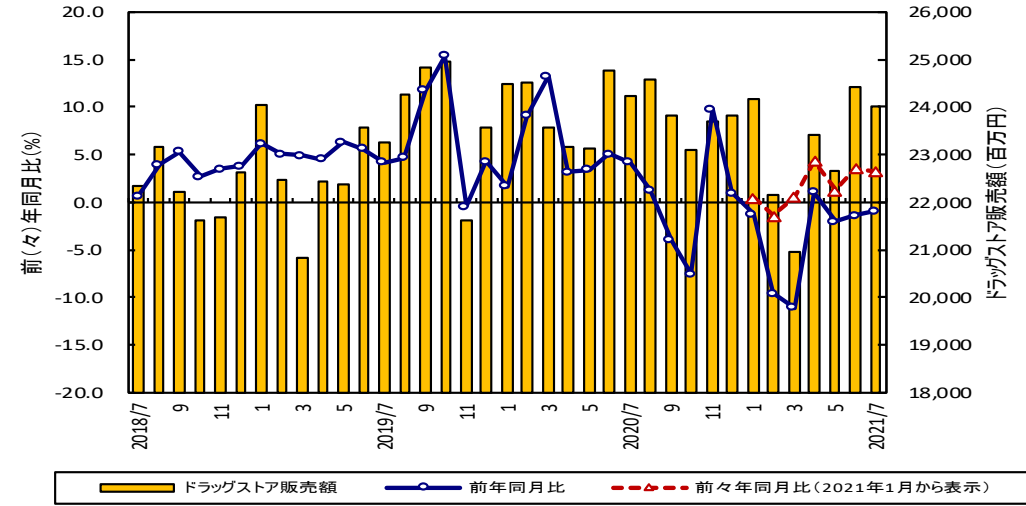
- 家電販売は、同+14.5%（同+19.1%）と2か月ぶりに前年を上回った。ドラッグストアは、同▲0.9%（同+3.3%）と3か月連続で前年を下回った。ホームセンターは、同+1.5%（同+15.8%）と3か月ぶりに前年を上回った。
- 新車販売は、同▲5.4%（同▲17.1%）と5か月ぶりに前年を下回った。

家電大型専門店販売額推移



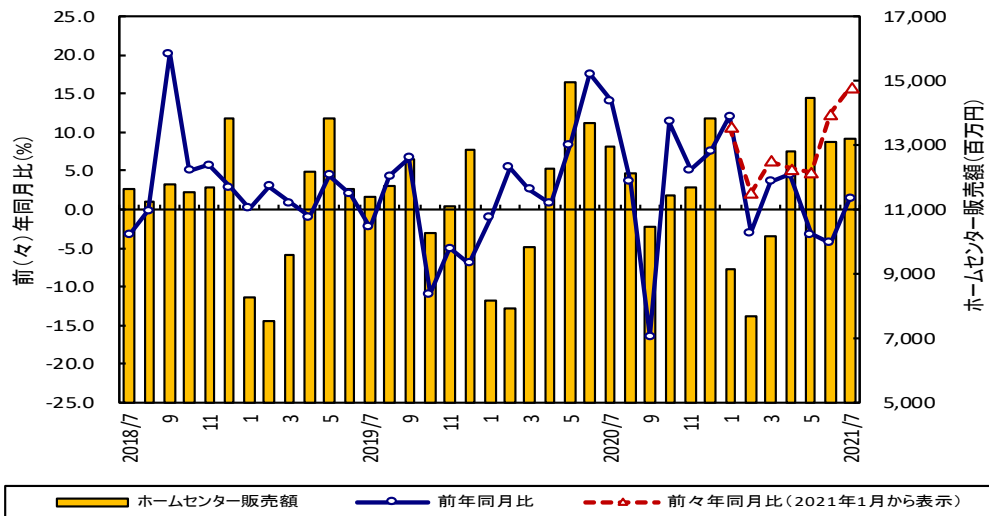
(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額推移



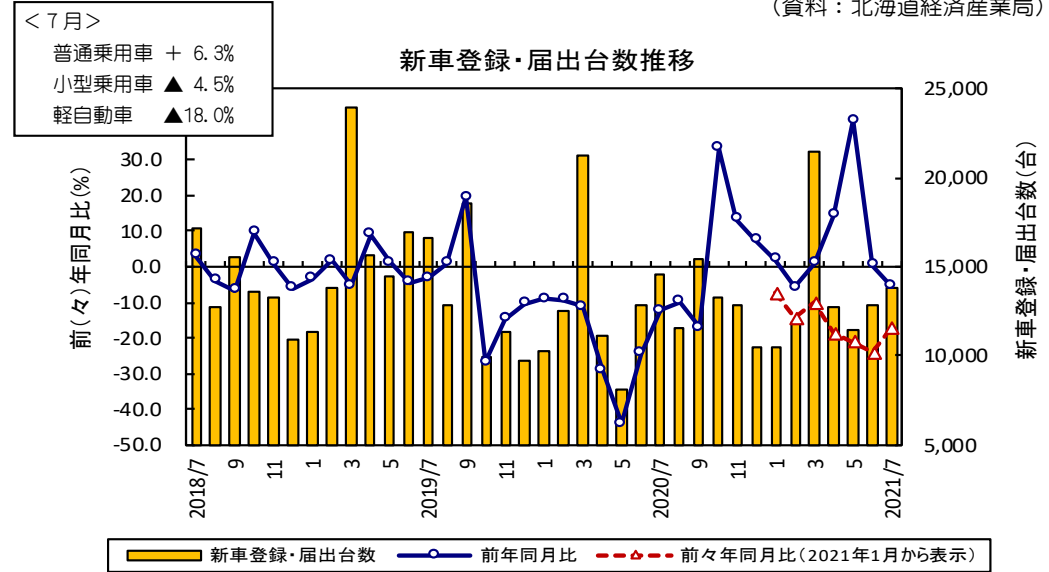
(資料：北海道経済産業局)

ホームセンター販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

新車登録・届出台数推移



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

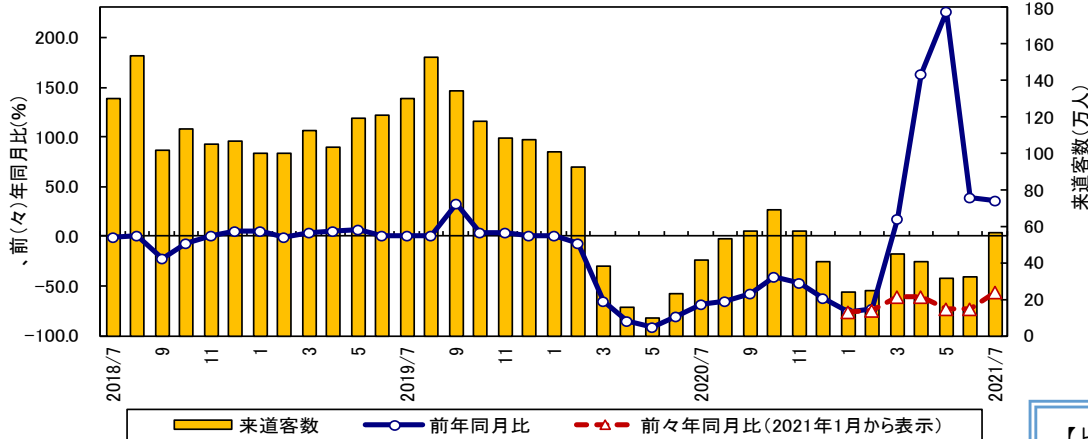
【ヒアリング内容】

- 中旬から真夏日が続き始め、エアコンや扇風機など夏物家電の売上が大きく伸びた。また、客数の増加にも貢献し、他の商品も売れるという波及効果もあった。（家電大型専門店）
- 前年は衛生用品を買いだめする動きが少し残っていたことから、その反動もあって前年を若干下回った。（ドラッグストア）
- 真夏日が続き、扇風機などの暑さ対策商品の売上が好調だった。DIY関連は引き続き堅調な売れ行きを示している。（ホームセンター）

# 観光 ～ 低迷している ～

7月の来道客数は、前年同月比+36.4%（前々年同月比▲56.5%）と5か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、3人であった。

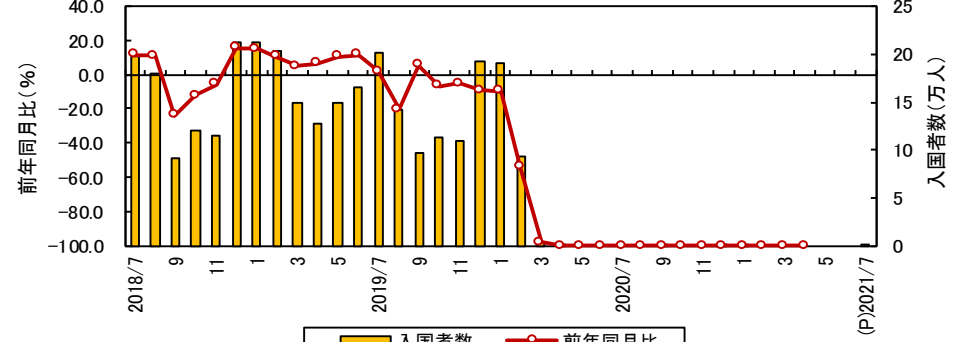
来道客数推移



<7月> 来道客数 565,602人 (+36.4%)  
 ※北海道外から航空機（国内線）、JR（北海道新幹線）、フェリーを利用して来道した旅客数。  
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光振興機構)

道内外国人入国者数



(資料：法務省)

注) (P)は速報値

<7月>  
 入国者数 3人(-%)

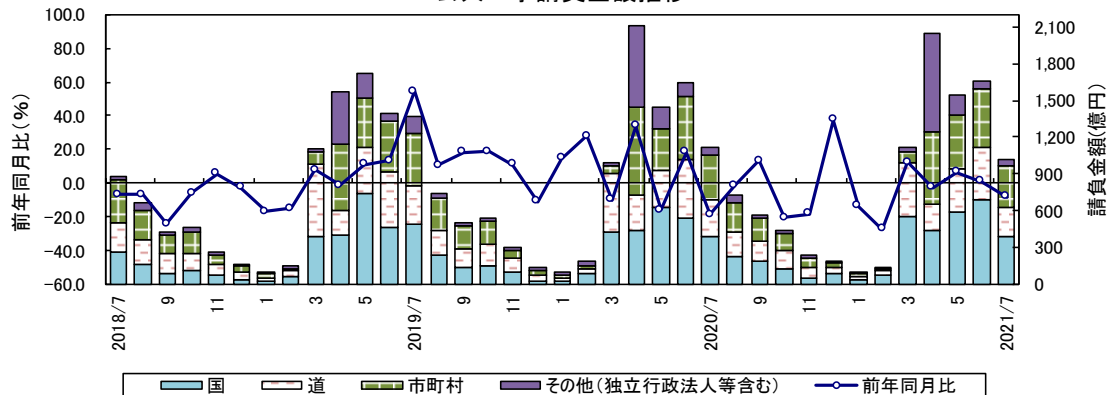
## 【ヒアリング内容】

- ・オリンピック関係者など道外からの観光客も多少増えてきているが、低調な状況に変わりはない。新型コロナウイルス感染症の影響で、今後も、国や自治体などの観光振興策の展開が難しいものと思われ、観光客数は低調に推移することが見込まれる。(関係機関)

# 公共工事 ～ 減少している ～

7月の公共工事請負金額は、国は前年を上回ったが、道、市町村が前年を下回り、前年同月比▲8.1%と3か月ぶりに前年を下回った。

公共工事請負金額推移



<7月>  
 北海道 ▲8.1%  
 (内訳)  
 国 +2.0% 道 ▲23.2% 市町村 ▲5.7% その他 ▲10.3%

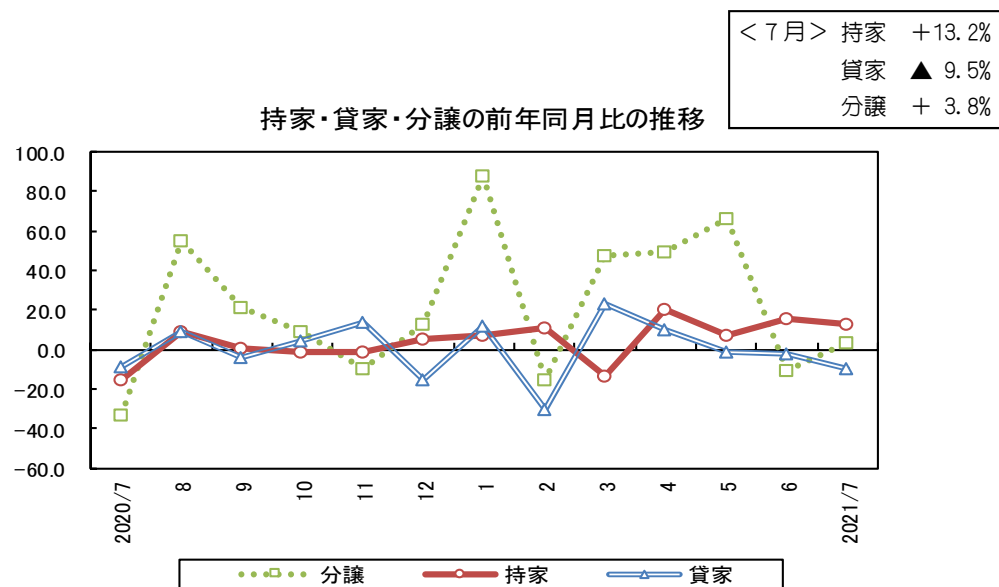
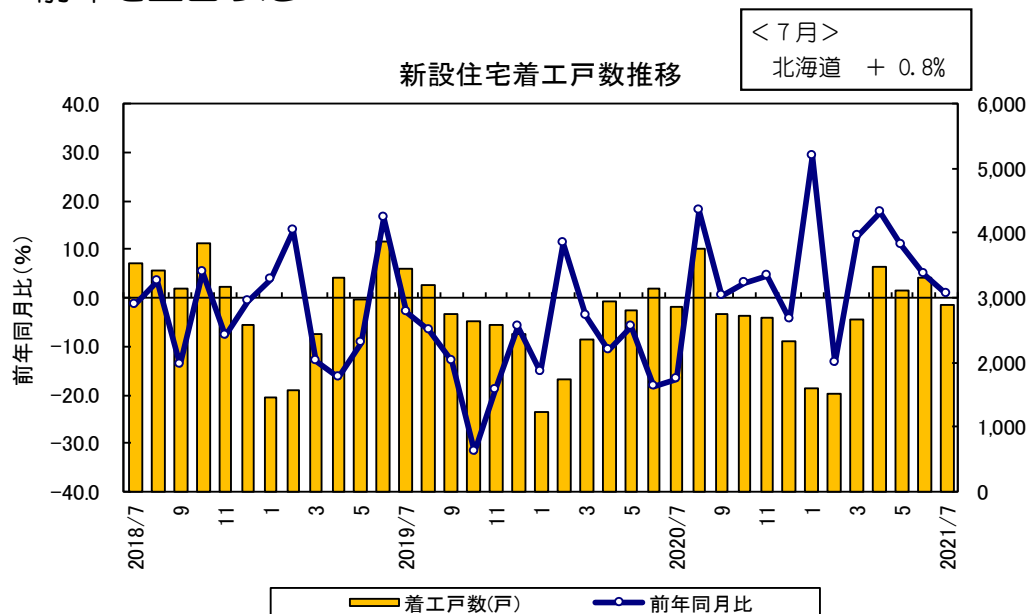
(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)



# 住宅建設 ～ 持ち直しの動きがみられる ～

7月の新設住宅着工戸数は、貸家は前年を下回ったが、持家、分譲が前年を上回り、前年同月比+0.8%と5か月連続で前年を上回った。



(資料：国土交通省)

# 民間設備投資 ～ 増加している ～

2021年度の設備投資計画は、全体で前年度比+4.6%と2年ぶりに前年度を上回る計画となっている。

日銀短観の設備投資動向

2021年7月1日発表

	2020年度	2021年度
北海道	▲ 19.9%	+ 4.6%
製造業	▲ 4.0%	▲ 21.8%
非製造業	▲ 27.5%	+ 21.5%
全国	▲ 8.5%	+ 7.1%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2021年6月11日発表

	2020年度	2021年度
全産業	▲ 8.6%	+ 0.7%
製造業	▲ 17.7%	▲ 22.8%
非製造業	▲ 2.9%	+ 11.5%

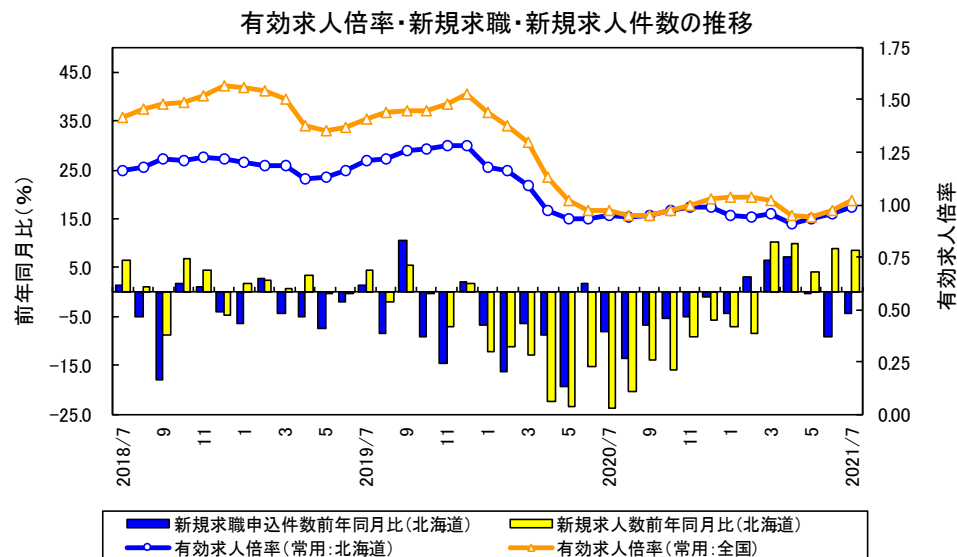
※数値は対前年比増減率。

(資料：北海道財務局)

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

# 雇用動向 ～ 弱い動きがみられる ～

7月の有効求人倍率は、0.99倍と前年同月差0.04ポイント上昇し、2か月連続で前年を上回った。

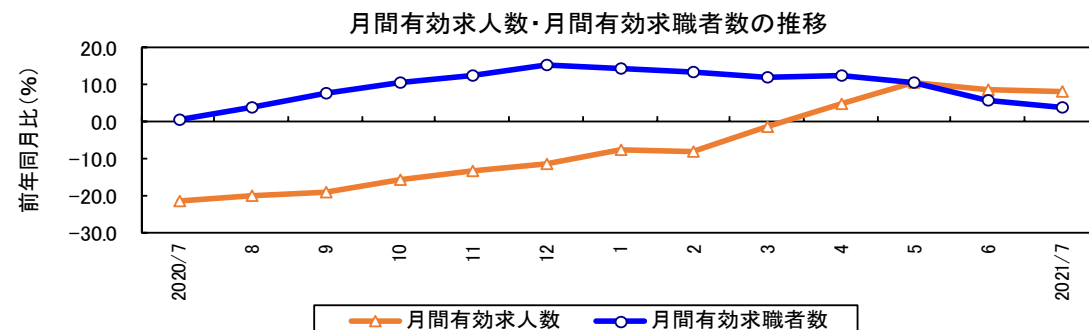


< 7月 >

北海道	有効求人倍率(常用)	0.99倍
	新規求人数(前年同月比)	+ 8.6%
	新規求職申込件数(前年同月比)	▲ 4.4%
全国	有効求人倍率(常用)	1.02倍

< 7月 >

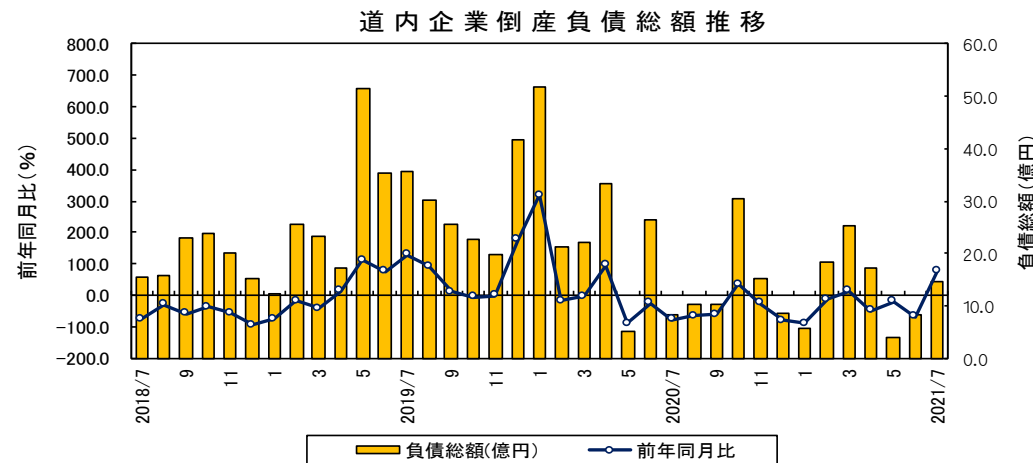
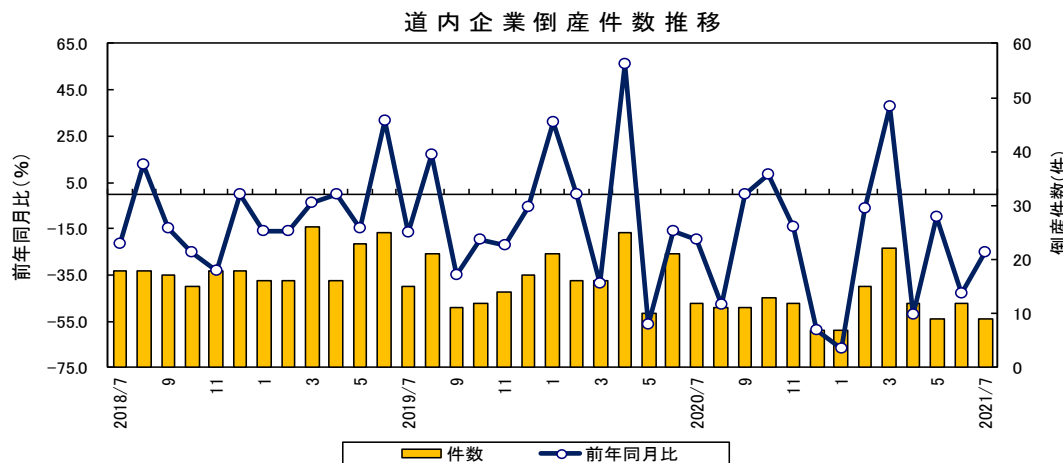
月間有効求人数	(前年同月比)	+ 8.0%
月間有効求職者数	(前年同月比)	+ 3.7%



(資料：厚生労働省、北海道労働局)

# 企業倒産 ～ 件数は減少、負債総額は増加している ～

7月の倒産件数は9件で、前年同月比▲25.0%（3件減）と4か月連続で前年を下回った。また、負債総額は14.7億円で、同+76.4%と4か月ぶりに前年を上回った。



(資料：(株)東京商工リサーチ)